

ひびき

教育目標：「なかよく かしこく たくましく」
3本柱：さわやか挨拶 聞き方・話し方名人 いきいき運動

多治見市立共栄小学校 H31. 3. 22

卒業・修了おめでとうございます。

校長 楯 明夫

平成 30 年度が終わろうとしています。

卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。

「ありがとう、あなたたちに出会えて良かった。」そんな気持ちでいっぱいです。

そして、在校生のみなさん本年度の修了おめでとうございます。

進級に向けて、卒業生の頑張りを超える活躍を期待しています。

「ありがとう」がとびかう学校をめざして取り組んで参りました。

今月初めの 6 年生を送る会の姿は、子どもたちの大きな成長を感じると共に豊かな心が育ちつつあると確信します。しかし、日常生活に目を向けると、まだまだ課題はあります。そのひとつが言葉遣いであると思っています。もちろん場面に応じて、きちんとした言葉を使うことはできてきています。反面、休み時間など、残念な荒い言葉も飛びかいます。毎年、掲載しますが、また載せさせていただきます。

言葉には力がある

励ましの言葉は、勇気をつくり、冷たい言葉は、孤独をつくる
賞賛の言葉は、自信をつくり、軽蔑の言葉は、不安をつくる
優しい言葉は、思いやりをつくり、おたみの言葉は、いじめをつくる
厳しい言葉は、向上心をつくり、馴れ合いの言葉は、墜落をつくる
正直な言葉は、信頼をつくり、虚偽の言葉は、憎悪をつくる
誠実な言葉は、感謝をつくり、安易な言葉は、怒りをつくる
寛大な言葉は、調和をつくり、乱暴な言葉は、争いをつくる
礼儀正しい言葉は、人に愛され、無礼な言葉は、師を失う
楽しい言葉は、仲間を増やし、愚痴や不平は、仲間を失う
言葉のない無視や無関心は、世の中を崩壊させる

どんな言葉にも、力がある

言葉のつかい方で自分がかわる。言葉のつかい方で仲間がかわる
言葉のつかい方で学校がかわる。言葉のつかい方で地域がかわる
言葉のつかい方で日本がかわる。言葉のつかい方で世界がかわる
言葉のつかい方一つで幸せになれる。
言葉を上手に使って素晴らしい人になろう！

普段何気なく使っている言葉を少しだけ、意識して発することで、人間関係は大きく変わってくると思います。同じ言葉でも言い方一つでずいぶん変わります。

「行ってきます」「ただいま」「ありがとう」「すみません」「頑張ってるね」等々、

進級に向けて、そんな心地の良い言葉をたくさん使えるようになって欲しいと願っています。子どもたちの心が豊かになっていくよう言葉の使い方についてご支援いただけると幸いです。

保護者の皆さまには、本校の教育活動へのご理解とご協力本当にありがとうございました。今後とも共に素敵な共栄小学校を創り上げていけるようご協力をよろしくお願いいたします。